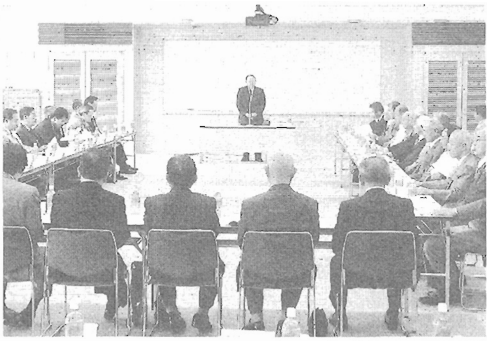
―西駅名選定委―

新駅名は「鹿児島中央」


新駅名について意見の集約を図った委員会
＝鹿児島市のかごしま市民福祉プラザで

鹿児島市は2日、同市のかごしま市民福祉プラザで第2回西鹿児島駅駅名選定委員会（会長・赤崎義則鹿児島市長）を開催し、経済界や各種団体、通り会、町内会など16の団体の代表者が参加して、新駅名としてふさわしい名称の候補を各委員と市内外の一般から広く公募した結果をもとに協議し、新駅名に「鹿児島中央」と決定した。

冒頭、赤崎会長が「公募数の多さからも市民や一般の方々の関心の高さが伺える。アンケート結果をもとにいろんな意見を出してほしい」と挨拶。

協議では、応募数の多かった鹿児島の前後に「中央」もしくは「新」がつく駅名と「鹿児島駅」の三つに絞り込んで協議。各委員からは「アナウンスで連呼する際の響きも考えてほしい」「市町村合併を踏まえてほしい」「世界的に理解しやすい名称を」などといった意見が出され、赤崎会長が意見を集約して全体に諮った結果、満場一致で「鹿児島中央駅」に決定した。

今後は、今回の決定をJR九州に要望するほか、経済団体を中心にして設立される駅名改称推進委員会（仮称）が来年2月にもJR九州と駅名改称の協定書を締結し、1年間の準備期間を経て、16年春の新幹線開業に間に合わせる。

なお、一般から公募した応募総数は2976通。そのうち、鹿児島中央が735通、新鹿児島535通、鹿児島338通。委員からの提案は鹿児島中央が37人、新鹿児島22人、鹿児島16人であった。

伊佐大口ダンプ部会奉仕作業

国道268号等を清掃

一杯になったごみ袋を手に、作業する参加者
＝大口市の現地で

伊佐大口ダンプ部会（山下和春会長）は1日、大口市及び伊佐郡菱刈町の主要幹線道路5カ所で、空き缶拾いなどの奉仕作業を実施した。

午前7時30分、㈱林運輸駐車場に集合した約80人の参加者を前に、橋ノ口公行副会長が「感謝の気持ちで始めた奉仕作業も今年で3回目。今回もたくさんの参加者に心からお礼を申し上げたい。交通量の多い場所なので、事故等くれぐれも気をつけて作業してください」と挨拶。参加者は作業場所や手順等の説明を受けた後、ごみ袋を手にそれぞれの担当地区へと出発した。

このうち、国道268号では、大境から夢さくら館までの約3㌔の道のりを歩きながら、空き缶やペットボトル、紙くずなどを拾い集めた。中には車のアルミホイールや、故意に捨てたと思われる粗大ごみなども散乱しており、参加者は「日本人の悪い癖。自分さえよければ良いのか」などと嘆きながらも流れ落ちる汗をぬぐいつつ、黙々と作業を続けていた。

参加業者は次の通り。

㈱ヤマカズ　㈱藤井建設　㈱林運輸　㈱大菱　㈱山下運輸　㈱豊菱　㈲國建運輸　㈲瀬崎建材　㈲南九クレーン　㈲村山建材

ていぶれいく

子煩悩な毎日過ごす

高田　智仁さん

平成9年に入社以来、工事部工事係及び現場監督として仕事に従事してきました。先輩方から時には厳しく、時には優しく接して頂いたため、苦労しながらも少しずつ成長。仕事を通じて忍耐力も備わってきました。

現在、生後2カ月の息子の子守りに没頭しています。毎日、多忙な日々が続いていますが、疲れて帰っても息子の笑顔や寝顔を見るだけで疲れも吹っ飛びます。起きているときはじゃれ合って遊ぶことが一番の息抜きとなっています。

休日もゆっくり体を休めたいのですが、子煩悩なのか終日子守りに精を出しています。大好きなドライブもしばらくは我慢ですかね。歩けるようになったら、ドライブがてら一緒に外を出歩きたいですね。

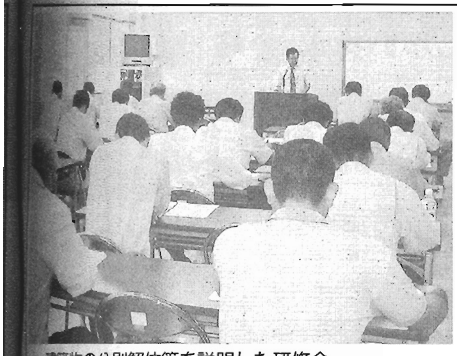
今後も家庭と仕事のメリハリをつけて、資格取得や家庭サービスに頑張っていきたいです。

㈱吉丸組

建築技術研修会――

建設リサイクル法など詳説

県建築協会奄美支部等


建築物の分別解体等を説明した研修会
＝名瀬市の大島支庁別館で

県土木部と県建築協会奄美支部（伊藤俊一支部長）は2日、名瀬市の大島支庁別館で建築技術研修会を実施、参加した会員らは建設リサイクル法や公共工事適正化法、建築工事積算マニュアルの改正内容などについて学んだ。

挨拶で大島支庁の中園梅義土木課長が「時代や人、場所でニーズはおのずと変わってくるが、その時々で対応するのではなく先取りが必要。環境問題や中心市街地の活性化、バリアフリー対策などルールを守って取り組んでいただきたい」と話した後、県建築課と県土木部の担当者が今年5月から本格施行となった「建設リサイクル法」を中心に講義を行った。

同法は資源の有効利用かつ廃棄物の適正な処理を図り、生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与することを目的として平成12年公布、今年5月から本格施行となったもの。講義では解体工事業者の登録や建築物等にかかる分別解体等及び再資源化等の義務付け、発注者・受注者の届け出・契約等手続きの整備などについて詳しい説明が行われた。

またそのほか「公共工事適正化法」や安全衛生管理計画、建築工事積算マニュアルの改正内容などの講義に参加者らは熱心に聴き入っていた。

来て！見て！体験まつり

太陽光システム見学でにぎわう

誠電社

多くの家族連れでにぎわった会場
＝鹿児島市の鹿児島食品雑貨流通センターで

総合電気工事業の㈱誠電社（谷誠社長、本社・鹿児島市）は8月31日、9月1日の2日間、鹿児島市東開町の鹿児島食品雑貨流通センターで太陽光システムや経済的なメリットなどを理解してもらおうと「第2回来て！見て！体験まつり」を開催、期間中、多くの家族連れや一般見学者ら約700人が訪れ、にぎわいをみせた。

2日間のイベントでは、モジュールや発電した電気を使用するクッキングヒーターや電気温水器などを多数展示。来場者に太陽光システムの良さを理解してもらおうとセミナーが開かれ、設置後のメリット診断などを行い実際にどんなメリットがあるのかを分かりやすく説明を行った。このほか、ハワイ旅行などが当たる抽選会や各種屋台などもあり、終日にぎわいをみせていた。

同社は平成12年9月から、太陽光発電機を導入し、オール電化にすることにより経費削減等の環境改善を図るHES（ハウスエネルギーソリューション）事業を展開しており、施工実績は現在までに約150件。今回、イベントでの契約などを含めると200件を超える。

谷社長は「来場された多くの方々が太陽光発電について高い関心を持っていることを確認できた。同事業を通じて環境改善に貢献していきたい」と抱負を述べた。

SPACE HOUSE が鹿児島に
スペースハウス
新登場
・簡単，スピーディーな作業
・安全性，快適性を重視
・コンセント，照明・換気扇付
・運搬時のコストダウン化
ハウス事業部
スペースハウス「エクストラ」
販売・リース 県下総代理店
中央仮設株式会社
☎(099) 229-5900
鹿児島支店
鹿児島市永吉町（アリーナ近く）
☎ (099) 250-5060番
FAX (099) 285-5999番
串木野支店
串木野市きつま山（R3号線沿）
☎ (0996) 32-2839番
FAX (0996) 32-4156番